

東京冀北会会報

# 東京冀北

第24号



東京掛中・掛西同窓会会報

## 第23回東京冀北会総会・懇親会会計報告 (2011.11.11)

出席者	会員 86名
来賓	3名 (掛川西高等学校校長他4名)
計	89名
有料出席者	86名 (602,000円) 懇親会費
当日年会費納入	60名 (180,000円) 一般会計 収入扱い
祝儀	3件 (掛川西高校長、同窓会副会長他、同窓会事務局長)
寄贈品	2件 赤岩 寛様 (高10)、竹原繁男様 (高16)
収入の部	
総会参加費 (7,000円×86名)	602,000
祝儀	30,000
計	632,000円(A)
支出の部	
パーティ費 (サンミ高松・看板費含む)	463,000
諸経費 (原品、写真、会議費)	25,154
雑費 (宅配便、コピー)	5,532
計	493,686円(B)
差 収 入 (A) 632,000 - (B) 493,686 =	138,314円
	(一般会計に繰り入れ)

平成23年11月30日

東京冀北会 事務局長 山崎 進

## 平成23年度東京冀北会収支報告

平成23年4月1日～平成24年3月31日

(収入)	前年度繰越金	389,437
	年会費 (郵便振替分)	513,000 (171名)
	” (銀行振込分)	12,000 (4名)
	” (現金納入分)	183,000 (61名)
	総会懇親会参加費	609,000 (87名)
	役員・幹事会費 (個人負担)	168,000 (42名)
	雑収入 (祝儀・預金利息)	30,007
	計	1,904,444円(A)
(支出)	印刷費 (総会通知一式、会報、宛名シール、封入作業費他)	424,620
	総会通知郵送費 (1,380通)	110,400
	総会返信後納費 (317通)	20,605 ※1
	総会・懇親会費	493,686
	会台費 (幹事会・役員会等)	201,050 ※2
	出張・祝儀費 (掛川・総会出席)	40,000
	通信物流費 (郵便、宅配便等)	33,620
	事務費 (事務用品、管理費等)	114,180
	計	1,438,161円(B)

(収支残高) (A - B) = 466,283円 (次年度繰越金)

※1 総会欠金はがき返信料受取人払い。

※2 役員・幹事会は個人負担 (@ 4,000 × 42名) 168,000円を徴収。

会計監査 竹原 繁男 (高16回卒)  
会計監査 内田 金男 (高22回卒)

## 校歌

作詞 藤井金吾  
作曲 堀 福寿

一、岩根ごごしき天守台  
その麓にぞわが校は  
基定めて遠川の  
栄え行くこそ榮しけれ

二、雨降り嵐ささぶとも  
指してや行かむ小笠山  
希望の懸を射るまでは  
めげず撓まず屈折れず

六、やがてまことの勲なし  
誉れは栄ゆる百々錦  
飾りて花の色そへよ  
大和島根の山桜



**編集後記**

盆踊り大好き人間の私は、八月三日に日光和楽踊りに行って来ました。

以前より一度行ってみたいと思っていましたのでやっと実現しました。一企業(古河電工日光精錬所)の福利厚生のために始められた盆踊りも、来年100年を迎えられるそうです。

午後七時のサイレンとともに始まった電飾と踊りに、ぶった曲げました。工場内の池の周りを従業員やサークルや一般市民の仲間が、哀愁帯びた和楽の曲に合わせ踊り始めました。あまり企業色も出さずに、ひたすら踊る人達の顔と顔が、とても印象的でした。

午後九時に踊り終えた人達が、踊り足りない顔して、それぞれ余韻を楽しんでいました。私は最終の新幹線に乗り十二時近くに東京駅に着きました。

あー、とてもいい一日でした。わが東京冀北会も、来年25周年を迎えます。継続は力、をモントーに何か好い記念イベントを模索中です。(Y記)

発行日 平成二十四年十一月七日  
発行者 東京冀北会 中山紀子  
印刷 藤文洋社

## ご挨拶



東京冀北会会長 中山 紀子 (高十四回卒)

平成二十四年度より東京冀北会の会長を引き受けることになりました中山紀子(旧姓高木・高十四回卒)です。冀北会各支部でも初めての女性会長ということですが、後に続く女性のためにもしっかりと役目を果たしたいと思っていますのでよろしくお願い致します。

今年の東京冀北会総会・懇親会は、少しでも若い方々(二十回卒以降)に出席していただきたいといういろいろと関係者に働きかけをして参りましたが、今迄お会いできなかった方々にお会いできるかなと楽しみにしております。私たち十四回卒の場合は、最初に東京冀北会に集まったのを機に、その後同期会を頻りに開くようになって、高校時代に話したこともなかった同級生とも親しくなり、年々楽しい語らいが多くなっています。

東京冀北会総会・懇親会が出席者の無事を確かめるためだけに終わらず、出席することによって新しい知識や情報などを得る機会になればと願っております。さて今夏はロンドンオリンピックが開催され、日本中

## 追悼

## 杉田隆さんのこと



大貫 満雄 (高四十一回卒)

今年の八月の猛暑のなか、杉田隆さんは昇天されました。つつしんで御冥福をお祈りいたします。

杉田さんは東京冀北会の創立者です。今から二十四年前、杉田さんは石川嘉延さん達と一緒に、東京冀北会の創立を企画され、京浜地区在住の掛中・掛西OBに呼びかけ、各年度の代表者が集まりました。

最初の会合は、たしか銀座の和食料理屋の二階の日本間で、車座になって話し合いました。

初代会長には一番先輩の岡本甲子男さんが就任下され、石川さんが事務局長をしてくれました。そして陰の推進役



がスポーツの話題で沸きました。私も現役時代に何度も全英オープンで試合をしたウエンブレアーリーナを三十七年振りに訪れ青春時代の思い出の一ページをひもときました。でも不思議に空白時間を感じませんでした。私の関係しているバドミントンは、史上初の銀メダル獲得で大いに盛り上がりましたが、反面無気力試合などという不名誉な事件が起こり、バドミントンのイメージが悪くなったのではないかと危惧しています。なおその件に関して、帰国後シンポジウムを開きましたところ、スポーツジャーナリストや弁護士など立場によって良とするのか悪とするのか正反対の意見に分かれたのにはびっくりさせられました。私自身は純粋なスポーツとして決してあつてはならないことと思っています。久しぶりに訪れたロンドンでしたが、紳士の国のイメージが脈々と受け継がれていたことを嬉しく思いました。

ロンドンオリンピック会場  
ウエンブレアーリーナにて

が杉田さんというわけでした。

杉田さんはいつも飄飄としていて、老子を髣髴させる偉大な力を持っていました。空の力、無の力と言えましようか。

岡本会長は当初の方針として、

「せっかく東京冀北会を作ったのだから、これからいつまでも続けていくことが大切だ」

と力説されました。その方針に基づいて、(継続は力なり)を実現したのが、杉田さんの空の力だったのです。

とくに石川さんが静岡県知事として東京を離れられてからは、それをカバーすべく杉田さんは三代目の会長にも就任し、空の力をフル回転させてくれました。

杉田さんは昇天されましたが、これからも天界から東京冀北会を温かく見守っていてくれるにちがいありません。

杉田さんは本当に羽化登仙されたのです。



## こんな同窓会もあり



大石 武郎 (高十四回卒)

上野をあとに池袋、走る電車は内回り、わたしや近頃外回り・・・これは柳亭痴楽の恋の山手線ですが、

私は4月の八重桜咲く頃、秋田大学鉱山学部同窓会が主催する22回目の「徹夜で山手線を一周歩く会」に参加しました。

会社の先輩2名がこの鉱山学部の出身で、毎年山手線一周を企画しているとのことで興味を示しましたら、一緒に歩くかいと部外者ながら招待されました。山手線は電車だと34km、1時間2分ぐらいで一回りしてしまいます。そのコースをおおむね線路に沿って、東京駅から上野駅回りで歩くと39km、約10時間かかります。

会社の先輩方を見ますと本格的な山登りが大好きな方々なので、私のような軟弱者は場違いではと思いつつ、夜8時に集合場所の東京駅へ着きました。そこに待っていたのは、25歳から84歳までのその多くが70歳台で、ツワモノばかりかと構えていたのが拍子抜けするくらいのスラツとした紳士20名とご婦人方5名の集団でありました。

東京駅を午後8時、「山手線一周歩く会」の旗を先頭に「内回り」にぎざ出発。まずは日本橋経由で神田駅へ到着し、ここで各駅ごとになっている集団記念撮影をします。秋田の新聞記者が途中まで同行し、インタビュ、写真撮影しながら1時間5kmぐらいの速度で次の駅へと進みます。

線路沿いに歩くとは言っても、時には狭い路地裏や、いかがわしいホテル群を縫って歩くこともあります。この真夜中に20数名の老人主体の団体が街中を歩き回っているの、交番の警察官に怪訝な顔をされたり、池袋や新宿の飲み屋街を通過するときには酔客に、掲げている旗を見て、「エッー山手線一周だってえ、よくやるよなあ」とひやかされ、通りに漂う焼き鳥のいい香りに誘われつつも、ここはぐっと我慢し、さらに歩を進めます。

昨年は大震災の直後だったので東京の街は節電で暗く、JR各駅も照明を落として真っ暗だったと聞きますが、今年は明るく、そのためか、カラスが真夜中12時ごろにでもカーカーと元気なこと、飲み屋街から出る生ごみを狙ってのことでしょうか。

この集団のなかの84歳の方は、酒がエネルギーの元と、カップ酒や缶ビールを飲みながら歩いていきます。さすがにドン尻でよたよたと歩いているのですが、とうとうこのスタイルで40kmを歩き通してしまいました。酒の力恐るべしであります。

れてもかなりむつかしい。真夜中の、人もさほど歩いていないところを歩くので、綿密な地図、下調べと磁石がいるでしょう。

高田馬場駅近くで終電を見送り、恵比寿駅近くで始発電車に出会いました。歩いてきつかったのは五反田駅の30kmあたり、股関節が痛くなり、歩道橋を手すりにもたれかかりながら渡るありさまです。品川駅へは朝6時に着きました。足を引きずり7時30分に東京駅に無事到着、みんなで万歳三唱をしました。途中、代々木駅ちかくの蕎麦屋で夜食をとったり、3か所ぐらいの公園で休憩を取ったのでこの時間になりました。

この同窓会の総会は、東京駅地下街の朝から開いている居酒屋で行なわれました。疲れとすきつ腹で、秋田から持ち込まれた銘酒を冷やでガバツと飲んだのが悪かったのか、ろれつが回らず、天井が回る始末。酔うほどに大学寮歌と踊りが出て会はいやが上にも盛り上がりました。実はこの同窓会は、時間の無い方、足腰の弱い方のために、他に居酒屋直行コースなど3コースの用意もしてあります。

ひるがえって東京翼北会。講演中心の同窓会もよいですが、このような企画で「外」へ出てみてはいかがでしょう。若い方も負けじと参加するのではないのでしょうか。かかる費用は居酒屋代だけで安上がり、歩きながらの老若あい交えての会話交流が出来ますし、終わった後には

とはいっても、高齢集団であるのでなかには具合悪くなる人もいて、途中リタイアしたクシイーで自宅へ向かった方もいました。その方は手術後間もない方で、事務局世話係だったので少し無理をされたようでした。来年は再挑戦すると意気込んでいます。

JRの各駅改札口近くには駅名の入ったスタンプが置いてあります。確かにそこを通過した記念に、スタンプ帳へ押しして満足して次の駅に向かうのですが、池袋駅に着いた時、どこにスタンプ台が置いてあるのか、広い構内を歩き回っていたら皆とばぐれてしまいました。方向的には線路の内回りなので、あわてて追いかけて、10分ぐらいしてやっとの思いで合流した時にはホッとしました。

このように、線路沿いをひとりで回ってごらんと言わ達成感があります。困難を共有した一体感も醸し出されます。

さすがに年相応に一週間ほど疲れが残りました。この40kmは、東京駅から千葉県八千代市の自宅までの距離にあたり、大災害時には徒歩での帰宅の自信もつきました。一回は試す価値があるかと思いますが、いかがでしょうか。やはり、やめときますか。

## 安心、安全な暮らしを求めて



島 順子 (旧姓 東海)  
(高二十二年卒)

石けん生活25年、我が家から合成洗剤が無くなったのは、未来の子供たちにきれいな川や海を残したい、そんな思いから始まりました。

生活クラブ生協という組織に加入し、環境委員として、食の安全や環境問題に取り組んでいくうちに、いかに我々の日常生活は、合理性、利便性のみが優先され、危険を顧みることなく生活してきたかを痛感致しました。

そして、この東日本大震災によって原発問題がおき、



これからのエネルギー問題も大きな課題となっておりますが、生活クラブでは、この原発問題が起こる前から原発を指示し、再生可能なエネルギー、風力発電の設置に取り組んできました。

そして組合員賛同のもとに、秋田県に1基風力発電が設置され4月から稼働しています。  
今年の夏も節電のため、組合員の皆様にはグリーンカーテンを勧め、賢い節電の暮らし方を提案してきました。

一主婦として日頃できることは微力ですが、安心な暮らしを守るため、合成洗剤の危険性を学び、石けんの良さを組合員にアピールする活動や食品添加物、遺伝子組み換え問題など、講師を招いての学習会も開催しております。

そしてまた、地球温暖化防止のためCO<sub>2</sub>削減を考え、生活クラブでは空き瓶はリサイクルではなく、リユースを実践しております。

「我々の子孫に美しい地球を残していこう」  
そのためには、今までの生活を一人一人が見直し、謙虚に改めていく姿勢が必要なのかと思えます。

中々、変革ということは容易なことではありませんが、食の安全、環境に優しい暮らしをめざす生活クラブ生協、こんな組織の中で、これからも環境委員として地道な活動を続けていきたいと思っております。

### ●東京冀北通信●

**鈴木 坦** 中二十八回  
要介護3。熱中症で四週間ほど入院いたしました。只今自宅で快復するべく頑張っております。九十七歳です。

**増田 泰次** 中二十九回  
父は十月で九十七歳になります。認知症もなく元気過ぎております。認知症もなく元気が大変になり四月から老人施設に入居しました。本人の意志でこのはがきを出します。

**堀池 有** 中四十一回  
所用のため欠席です。週二回のリハビリで腹筋は大分鍛えられ車の運転はしているもの。歩行にはいまだ多少の難があります。地域活動は相変わらず続いております。ご参会の諸兄、講師によろしく。

**石田 武** 中四十四回  
小生間もなく八二歳となりますが、先日杉並区長から「米寿の祝」をいただきました。お陰様で元気で今後も他人様のご厄介にならない限り生き抜くつもりです。

**西井 啓二** 高三回  
八十翁ながら現役として診療、手術、当面と仕事しております。私を知る友がおりましたらよろしくお伝え下さい。

**川島 常雄** 高四回  
毎回ご連絡有難うございます。会の様子は会報で楽しませていただいております。お陰様で健康で趣味や自治会活動のお手伝いをして充実した日々を過ごしております。夜の会は特に弱いのです。お返事をさせていただきます。

**東京冀北会役員**  
昨年十一月十一日に行われました、第二十三回総会で二年に一度の役員改選が行われ、次の方々が新役員に選出されました。

- 会長 中山紀子(高十四回卒)
- 副会長 小関孝司(高十四回卒)
- 副会長 遠藤義昭(高十六回卒)
- 副会長 森田重敏(高二十一回卒)
- 会計監査 竹原繁男(高十六回卒)
- 会計監査 内田金男(高二十二回卒)
- 代表幹事 鈴木正具(高十九回卒)
- 事務局長 山崎 進(高十二回卒)



卓話講師 水谷靖氏  
平成24年8月 掛西同窓会にて

### 訃報

**内田 耕三** 高九回  
選挙で選ばれた政治家(国会議員)が政府の行政マン(役員)のサボタージュに合せて、仕事が進まない珍現象が起きています。こまつたことです。

**石川 嘉延** 高十一回  
当地での予定が前々から決まっていた都合がつかせませんでした。悪しからずご容赦下さい。週一回三島の日大キヤンパスで3教科の講義を行っております。準備が大変で、毎週追われるような気持で、しかと、元気で過しております。

**赤堀 肇紀** 高二十回  
沼津市内在住ですので、東静岡冀北会に入会していますが、たまには貴会に参加させていただいております。今後ともよろしくお願ひします。

**川村 弘史** 高八回  
郊外に住んでいると、都心へ出るのおつこうになり、なかなか出席していませんでした。久しぶりの参加です。皆様にお会いするのを楽しみにしています。

**坂井 吉男** 高十九回  
今年一月、四十五年振りに坂田先生の受章を期に音楽部の同窓会に出席し感動しました。更に三月には久しぶりに高十九回の同窓会にも出席。感動を再び！多くの同窓生にお会いしたいと思っております。

**木村 延崇** 高四十四回  
今秋山口から10時間掛けて車で帰省しました。実家の目の前には新東名の高架が完成し、森掛川ICもすぐそば、便利になりましたが、懐かしい風景も一変しました。(萩市在住)

**渡辺 春彦** 中四十一回卒  
平成二十四年二月六日 死去

**白川 和則** 中四十一回卒  
平成二十四年五月十二日 死去

**山崎 邦介** 中四十一回卒  
平成二十四年三月 死去

**田中 敏郎** 中四十四回卒  
平成二十四年三月一日 死去

**戸塚 弘一** 中四十四回卒  
平成二十三年十一月二十二日 死去

**山本 隆史** 高三回卒  
平成二十三年十月 死去

**柴田 正士** 高三回卒  
平成二十二年九月 死去

**遠山 理一** 高四回卒  
平成二十四年四月六日 死去

**間藤 章** 高三回卒  
平成二十四年九月十六日 死去

**杉田 隆** 高四回卒  
平成二十四年八月 死去

**竹中 彬** 高七回卒  
平成二十四年四月十六日 死去

**沖野 光男** 高五回卒  
平成二十四年九月十九日 死去

**永田 恭子** 高十四回卒  
平成二十三年四月一日 死去

**小池 邦彦** 高十八回卒  
平成二十三年十一月一日 死去